

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2000.2.1 ~ 2.29)

刊行物

- 『民主評論』(戦後社会運動資料/新聞・雑誌編)全5冊
- 『高齢者の在宅ケア - 一歩を進めるために - 在宅高齢者と地域医療 - (加齢過程における福祉研究会記録その5)』
- 『大原社会問題研究所雑誌』494・495号(2000年1・2月)
- 『大原社会問題研究所雑誌』496号(2000年3月)
- 『新着図書目録』201号(2000年2月1日発行)

図書受入

	和書	洋書	計
購入	151	39	190
受贈	25	0	25
合計	176	39	215

閲覧サービス

閲覧

開館日数	19日
閲覧人員	24名
貸出図書	31冊

コピーサービス

学外	14件	1136枚
学内	15件	1740枚

日 誌

- 1日 来所：読売新聞社八王子支局福士千恵子氏
『高齢者の在宅ケア 一歩を進めるために』(法政大学大原社会問題研究所調査報告No.8)発行
- 2日 OISR.ORG トップページへのアクセス10万件突破
- 5日 経営労務研究会

報告者 相田利雄

テーマ 「ホワイトカラーの昇進論」

- 9日 研究所創立81周年
『民主評論』(戦後社会運動資料/新聞・雑誌編)全5冊発行
- 13日 OISR-WATCH No.14発行
- 15日 全駐留軍労働組合より「全駐労情報1949~1999」CD-ROM縮刷版7枚を受贈
- 22日 『日本労働年鑑』編集会議
- 23日 運営委員会
議題 諸報告
運営委員(兼任研究員)人事について
兼任研究員人事について
客員研究員・嘱託研究員人事について
その他

公開講演会

講演者 金基元・韓国放送大学教授
テーマ 「韓国財閥における構造改革」

研究員総会

懇親会

- 26日 加齢過程における福祉研究会
報告者 山本晴彦氏(山本内科クリニック)
テーマ 「プライマリケアとしてのターミナルケア」
- 29日 私立大学図書館協会レファレンス分科会
(於：静嘉堂文庫,大宅文庫,参加：遊座圭子)

大原社会問題研究所雑誌 No.499(2000年6月号)
2000年6月25日発行
定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集人 早川征一郎
発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 早川征一郎
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会問題・労働問題に対する論文，調査報告，書評を広く募集しています。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 原稿は，ワープロ原稿による未発表のものに限ります。
2. 論文の長さについては，400字詰原稿用紙50枚程度が望ましい（図表を含む）。
3. 本誌に初めて投稿する場合には，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
4. 編集委員会で審査のうえ，採否をご連絡します。
5. 原稿2部を下記まで送付してください。
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『 』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
（例）法政大学大原社会問題研究所編『《連合時代》の労働運動』総合労働研究所，1992年，10頁。
B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「 他」の方式も可とする。
C. 論文については，執筆者名，論文名（「 」で囲む），掲載雑誌名（『 』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。
（例）加藤讓治「ポストモダニズムと労働組合」『大原社会問題研究所雑誌』404号，1992年7月。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上